

おかあさん、ありがとう

鹿児島県
日置市立妙円寺小学校一年

田平 遙飛

ぼくがおおきなこえではなしをしようとする、「もうちよつとちいさなこえではなしをして。かなちゃんがおきるでしょ。」と、おかあさんにしかられます。

かなちゃんは、ぼくのいもうとです。ことしの三がつにうまれました。おかあさんは、かなちゃんのおせわでいそがしくて、ぼくとほとんどあそんでくれません。

ぼくは、ひとりでいるのがさみしくて、かなちゃんがいるへやへいくと、「はいつてこないで。かなちゃんがねているから。」といわれます。ぼくは、しかたなくりびんぐにもどります。「かなちゃんばかりいいな。」と、ぼくはよくおもいます。

なつやすみ、ぼくがおそくまでおきていると、かなちゃんをねかしたつたおかあさんがぼくのところにやつてきました。そして、おかあさんは、「はるくんがあかちゃんだったころは、よなきでたいへんだつたんだよ。かなちゃんよりもたいへんだつたんだから。なきはじめたら、一じかんぐらいなきやまなくて、もしかしたらびょうきかなとかおもつたこともあつたんだよ。」とはなしてくれました。ぼくが、そんなによなきをしていたなんてしりませんでした。ぼくが、そんなによなきをたをみて、おかあさんもないていたそうです。あかちゃんの

せわつてとてみたいへんだなとおもいました。

また、「うんちが一しゅうかんもなくてびょういんにいたり、くびがなかなかすわらなくてしんばいしたりもしたんだよ。」と、わらつたかおでいきました。おかあさんがそんなにぼくのことをしんばいしてくれていたなんてすこしもしりませんでした。

ぼくは、おかあさんに、「かなちゃんのおむつをかえるのてつだつてもいい。」とききました。おかあさんが、「やつてみるかい。」といつたので、おしえてもらいながらやつてみました。おかあさんは、「うまくできたね。ありがとう。」とほめてくれました。うれしかったです。

ぼくは、ぼくがあかちゃんのとくにおかあさんからしてもらつたことを、かなちゃんにもしてあげてほしいとおもいます。

これからは、すこしぐらいのことがまんします。また、かなちゃんのほにゅうびんをあらつたり、おむつをかえるのをてつだつたりします。

おかあさん、ぼくたちのためにいつもがんばつてくれてありがとう。